



梅雨に入り気圧の変化が体に影響を及ぼしています。雨の降る前に気圧が低く、湿度が高い時は、頭痛や咳、耳鳴り、機げんが悪いなどの症状があります。「大人の病気」と思いがちですが、子どもにも出ます。風邪症状と似ていますが、違いは気圧の低い時期に症状が出ることです。一過性のもので症状がひどい場合は病院受診をお願いします。

＜夏に流行する病気＞

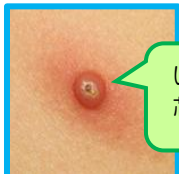
夏に流行しやすい病気をご紹介します。症状を知って早めの対応ができるようにしましょう。

水いぼ

症状：体中に硬いウイルス性のいぼができます。いぼはかゆみを伴うほか、徐々に大きくなって、破裂します。水いぼができてるい子の皮膚に接触すると感染します。(水の中では感染しません)

その他：水いぼは自然に治りますが、個人で治る速さが違います。プールや水遊びなどはできますが、**つぶれてジュクジュクになった場合はできません。**

*水いぼがあっても登園はできます。



いぼは硬くて芯があります

とびひ

症状：キズや虫刺されなどから水泡ができ、つぶれてジュクジュクになる。ジュクジュクになったところに他の部分が触れると、その部分も感染しジュクジュクになります。それが続いて全身に広がります。

治療：自然に治ることは殆んどありません。**病院で処方される薬での治療が基本です。**

その他：ジュクジュクがひどい場合でもお風呂に入ったり、石鹸を使用したりしてもかまいません。体を清潔に保ちましょう。

とびひで患部がジュクジュクになっている時は、水遊び、プール、泥んこなどはできません。

登園のめやす：とびひの部分をガーゼなどで覆って患部が触れないようにしましょう。



とびひはかゆみがあるので、つい、かいてしまいます。

ヘルパンギーナ

症状：高熱、のどの痛み(のどにブツブツができる)、鼻水、咳などの風邪症状。のどに赤い湿疹が見られます。

登園のめやす：解熱し、のどの痛み(のどのブツブツ)がなく、普通の食事や生活が送れることです。



のどの奥にブツブツができています。痛くてのみ込みができません。

手足口病

症状：発熱後手足口(口の中)または体全体にいぼのようなブツブツができます。その後つぶれて皮膚がはがれます。

注意点：口の中ですると痛みが出るため、飲食ができないことがあります。暑い時期は熱中症や脱水に注意が必要です。

登園のめやす：解熱し、食事ができて機嫌がよく、普通の生活が送れることです。

今年は、全国的に流行しています。大人も感染することがあります。



＜虫よけスプレーの使用について！！＞

蚊の季節がやってきました。キャンプや公園など草木があるところに行く時は、虫よけスプレーを使用すると思います。正しい使い方をしないと効果がなかったり、体に害を及ぼしたりすることがあります。

(注意点)

- ① 室内でスプレーを噴射すると薬液が室内にこもってしまいます。必ず、屋外で行いましょう。
- ② 顔の近くでは噴射しない。吸い込むだけでなく、目に入ることもあります。
- ③ ナイロン系の衣服にディートが含まれている虫よけが付着すると、変色する事があります。
- ④ 貼るタイプや手足につけるタイプの虫よけは、つけてある部分には効果がありますが、体全部を守るまでの効果はありません。
- ⑤ 虫よけを使用してアレルギーが出る場合があります。使用前は腕の内側につけてみてかぶれないか確認しましょう。

(園からのお願い)

園では戸外で遊ぶ時、虫よけミストを使用します。「使用したくない」や「肌が弱いから家のものを使用したい」などありましたら園にお伝えください。室内ではベープリキッドを使用します。虫に刺された場合は、「ムヒ」を使用しています。

